

第3回協議会 説明資料

第2回協議会の振り返りと今後の進め方

第2回協議会(11/4)で頂いたご意見

区分	主なご意見	対応方針
バリアフリー計画の進め方	令和3年度策定予定のバリアフリー基本構想の計画期間はどのくらいか。	<ul style="list-style-type: none"> ・国のガイドラインに基づき基本構想は5年間を期間と想定します。 ・また、関連する事業の動向、進捗等もみながら随時見直しを行います。
	大館市においてもまちづくりに関連する事業の動向をみながら随時計画内容の見直しを検討してほしい。 自動運転などまちづくりに関わる様々な事業が動いているが、基本構想はそれらの内容を考慮したものとなるのか。	
計画の内容	まちあるき点検に参加したことで、普段車社会で生活していることで気づかないことが多くあったため、本計画の中でもっと市民の方を巻き込んだ計画としてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・10/23に実施したまち歩き点検やパブコメでいただく意見を反映し計画内容の検討を行います。 ・大館地区、比内地区、田代地区を移動等円滑化促進地区の候補として検討します。 ・また、これらの地区を中心に、次年度重点整備地区の設定、特定事業計画の検討を行い、大館市のバリアフリーまちづくりを推進します。
	高齢者、障害者さらには子供も含めた広い市民目線で検討いただきたい。	
	市の中心部に焦点があたりがちで、比内地区や田代地区は協議に上がりにくい。特に銀行やタクシー業者の撤退が相次ぐ田代地区について重点的に調査、検討いただきたい。	
	次年度基本構想で定める事業内容においては優先順位を付けて取り組みをすすめてほしい。	
	これまですすめてきたまちづくりの成果や課題について、計画の内容の中で市民への説明があったほうがよいのではないか。	
他の事業等との連携	バリアフリーに関連する他の会議や協議会であがっている問題や課題を吸い上げ、本協議会でも検討をすすめてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・関係課で構成する庁内検討委員会でバリアフリーに関する情報共有を行います。
	基準に基づき業者の判断で除雪作業が行われているが、除雪後の歩道について、バリアフリーの観点から問題ないか福祉課、都市計画課、その他関係する課と協議してはどうか。	
	秋田県初の共生社会ホストタウンとして、今後もバリアフリーの取り組みに関して情報共有をいただきながら協議をすすめた。	
計画の評価	計画の指標の設定や評価方法の方向性を教えていただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・来年策定予定の基本構想、特定事業計画を含め、協議会での定期的な進捗の確認や目標達成状況のモニタリングを行います。
	他のまちづくり計画との関連は大変有効であると思うが、各関連計画に対して、取り組む合格ラインを目標として分かりやすくかつ具体的に設定してはどうか。	

第2回協議会の振り返りと今後の進め方

第2回庁内検討委員会(11/27)で出た意見

区分	主なご意見	対応方針
生活関連施設の選定	選定されていない施設がある。(福祉施設等)	<ul style="list-style-type: none"> ・選定基準について見直しを行い、改めて施設の抽出を実施しました。 ・施設名については、関係課に確認等を行い、修正しました。
	施設選定の基準があいまいである。	
	施設名に一部誤りがある。	
図面の見やすさ等	図面や添付写真などで、荒い部分や細かい文字があり、見づらと思われる。	<ul style="list-style-type: none"> ・図面については修正を行い、文字や境界線等が鮮明に見やすくなるようにしました。 ・効率的なバリアフリー化の促進を行っていくためにも、基準を持って生活関連施設の選定を行うことで、施設数の適正化を行いました。
	市中心部などでは生活関連施設が集中しているため、番号などが多く見づらくなっていると思われる。これだけの施設を一度に選定するのは整備促進の面からも効率的ではないと思われる。	
施策内容	施設ごとの取り組み方針やハードでの取り組み方針に比べて、ソフト面の方針が少ないと思われる。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者や地域住民への啓発活動等の方針を盛り込んだソフト対策・心のバリアフリーの取り組みを検討しました。
	心のバリアフリーを推進していくとのことであるが、実際どういう取り組みを行っていくのかわかりづらい。	

第2回協議会の振り返りと今後の進め方

今後の検討スケジュール

